



京都府教育委員会教育長  
前川 明範

新しい年度の始まりにあたり、皆様に御挨拶申し上げます。  
京都府教育委員会では、めまぐるしく変化していく社会において、「変化を前向きにとらえて主体的に行動し、よりよい社会と幸福な人生を創り出せる人」を育成するため、様々な施策に取り組んでおります。  
府立高校において、全ての生徒が「夢」や「志」を抱き、その実現に向かって挑戦できる学校を目指し、一昨年「魅力ある府立高校づくり推進基本計画」を策定しました。  
この計画のもと、教育環境の整備と入試制度を含めた高校改革を一体的に進めることとしており、これまでのように教室の中だけでの学びではなく、大学や研究機関等の専門家から指導・助言を受け、思考を深めることができるより高度な探究学習や質の高いスポーツ・文化芸術活動が可能となる施設・設備の充実など魅力的な学校づくりに取り組んでいきたいと考えております。  
そして、中学生の皆さんが主体的に自分の個性や能力に応じて高校を選択できる、よりよい制度となるよう入試制度見直しの検討を進めます。  
近年、子どもたちが抱える様々な課題が複雑化・困難化する中、教員が「働きがい」を感じ、「働きやすさ」も両立している学校を目指すことで、子どもと向き合う時間を確保するために、本年3月に「教職員の働き方改革推進計画」を新たに策定いたしました。  
教員が働きやすく、働きがいのある職場でいきいきと働くことは、創造性や人間性を高め、自身の教職人生を豊かにするものと考えております。  
今後は、この計画のもと、教員の勤務状況を的確に把握しながら、働く意欲を損なうことなく、教員個々の能力を発揮できる学校づくりに取り組むことで、子どもたちにとって、よりよい教育を実現してまいります。



## 京の子どもダイヤモンドプロジェクト

# 京都きつず

優れた資質のあるジュニアスポーツ選手の発掘・育成を行い、国際大会でのメダル獲得を目指す「京都きつず」では、「京都から世界へ!」を合言葉に、競技成績だけでなく、国際舞台で活躍できるように、小学4年生から中学3年生までの6年間、様々な育成プログラムに取り組んでいます!



京都きつず修生(第2期生)の飯村一輝選手が、2024パリオリンピックフェンシング男子フルーレ団体戦にて、金メダルを獲得しました!個人でも4位に入賞し、次のオリンピックでも活躍が期待されています!  
世界に羽ばたきゴールドメダリストとなるべく、修生や現役きつずが日々トレーニングに励んでいます!!



京都きつずHPはこちら→

## ■充実の育成プログラム

- 走・跳・投の基本動作やボール運動を基本としたトレーニングや柔軟性、全身持久力など競技パフォーマンスに関するすべての要素をトレーニングするコンディショニングプログラムなど、8つの**共通プログラム**
- 競技の専門的な指導を受ける**専門プログラム**(5競技)



## 京都府子どもの読書活動推進計画 (第5次推進計画) 策定

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものです。  
子どもたちが、生涯にわたって読書習慣を身に付けることができるよう、「多様な子どもたちの読書機会の確保」や「デジタル社会に対応した読書環境の整備」といった新しい視点を加え、今後5年間、社会全体で子どもの読書活動を推進していく計画を策定しました。

**この機会にご家庭や地域でも子どもたちと一緒に読書に取り組んでみませんか?**

## シリーズ人権 多様でありながら、ひとつ

今年開催される大阪・関西万博は、世界中からたくさんの人々が集まる大きなイベントです。万博では会場デザインコンセプトとして誰もが参加しやすいユニバーサルデザインの実現を目指しています。  
期間中はジェンダー平等、障害者やLGBTQの権利を尊重するための活動や、異なる文化を理解するためのプログラムも行われます。これらの取組は、他の人の気持ちを理解し、差別や偏見をなくするための大切な一歩です。  
4月は新しい出会いの季節です。新しい友達や先生との出会いは、多様な価値観に触れ互いの違いを尊重し合うための成長の機会を与えてくれます。万博をきっかけに、人権について見つめ直し、みんなのいのちが輝く社会を目指しましょう。

# 令和7年度 京都府教育委員会の主な取組

京都府教育委員会では、京都府ならではの教育を進めていくための指針「第2期京都府教育振興プラン」に基づき、様々な取組を実行しています。

※ **新** は令和7年度から始まる取組です。

京都府が目指す教育の姿はこちら



## 多様な学びの場の創出

### ● 京の高校生探究パートナーシップ事業

府市連携

府立高校と京都市立高校の生徒が交流し、ともに探究活動を行う子どもたちが未来の創り手として成長し続ける力を育成するために、高校生の学びを充実

**新** ● 京都が世界に誇る歴史的建造物の文化財等を舞台に、高校生と世界で活躍するトップランナーとの交流による探究活動を行う『**京都探究アドベンチャー(仮称)**』を開催

● 府立・市立高校が一堂に会し、学びの成果を発表する『**京都探究エキスポ**』を開催



京都探究エキスポ



気象ラボ

### ● 「学び・繋がる未来の扉」京都プロジェクト

経済的条件・地域条件に関わらず、全ての子どもたちが夢に向かって挑戦できる環境を構築し、**意欲ある生徒の力を存分に伸ばす学習機会を創出**

● 同じ興味・関心を持つ異なる学校の生徒が地理的制約を超えてオンラインを活用し学び合う『**学びのWEBラボ**』の実施。ICTや気象のラボ(研究室)に加え、新たなラボを開設予定

● 府立高校のスケールメリットを活かし、大学教授や経営者による各校の特別講義などをオンラインで受講できる『**府立学校どこでもスペシャル講座**』を開催。講義を発信する学校を順次拡大予定



## いのちを守る防災教育

### **新** ● 京都府災害時学校支援チーム(D-EST京都)の創設

災害時における「**学校教育活動の早期再開**」や「**児童生徒の心のケア**」などを支援する体制を構築

【D-EST: Disaster Education Support Team】  
D-EST(ディーエスト)とは、被災学校の学びの継続や学校の早期再開に向け、学校支援チーム派遣等の枠組み

### ● 災害に備えた実践的な防災教育の推進

激甚化する災害に備え、**自らのいのちを守り、ともに助け合う力も育む**



救助・運搬訓練の様子

## 子どもたちの学びを支える教員の働き方改革

### **新** ● 府立学校校務DX

高校入試の出願手続きやサービス管理など紙主体での管理をデジタル化し、校務を効率化

### **新** ● 学校業務検証事業

学校業務の抜本的な見直しを行うワーキングチームを設置し、実践推進校において改善策を実践・効果検証

### **新** ● 初任者教員への支援

初任者の業務負担軽減と育成支援のため、非常勤講師を配置

教員の「働きやすさ」と「働きがい」の両立を目指し、働き方改革を更に加速することで、子どもたちによりよい教育を実現します。

確かな学力の育成と  
学びの居場所の確保

### ● 京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～

児童生徒一人一人の学力の伸びや非認知能力の変容を分析し、学力向上や授業改善を図るため、1人1台端末を用いた調査を実施する。



### ● 一人一人に応じたきめ細やかな支援(いじめ・不登校児童生徒支援等)

スクールカウンセラー等の専門スタッフの配置や校内外での多様な居場所づくりなど、一人一人に寄り添う総合的なサポート体制を充実させる。

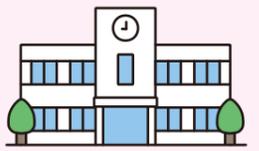
府立学校の  
教育環境の整備

### ● 魅力ある府立高校づくり

デジタル人材や成長分野の担い手を育成するため、文理横断的な探究活動が可能となる高性能なデジタル機器等を整備するとともに、学校施設の計画的な改修など、学校の機能強化や性能向上を図る。

### ● 向日が丘支援学校の整備

教育と福祉の総合的な連携による切れ目のない支援や教育環境の実現に向けて、校舎等を改築する。



生涯にわたる  
文化・スポーツ活動

### ● スポーツ・文化芸術に親しむ環境づくり

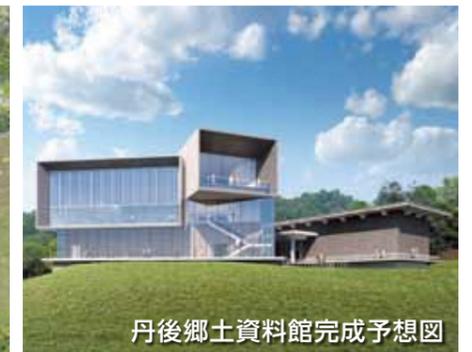
地域や学校の実情に応じた、生徒にとって望ましい持続可能な部活動を目指し、指導員の配置や部活動の地域移行に向けた市町におけるモデル事業を支援する。

### ● 丹後郷土資料館のリニューアル

丹後地域の歴史・文化の探訪と観光の拠点施設となるハブ・ミュージアムを目指し、令和8年度中のオープンに向け、リニューアルを行う。



向日が丘支援学校完成予想図



丹後郷土資料館完成予想図

## スクールミーティング

府教育委員が学校現場等を訪問し、特色ある教育活動の視察や教職員・保護者・地域の方々との意見交換を行い、教育行政の充実を図るスクールミーティングの様子を紹介します。

この事業は、『**京都府子どもの教育のための総合交付金**』が活用されています。



### ■ 特色ある「学校運営協議会」等の活動

宇治市立菟道小学校では子どもたちがタブレット端末を活用して行う宇治学の授業を視察し、探究型学習についての理解を深めました。

また、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めるための学校運営協議会による活動が行われており、その取組の1つである「おいしい宇治茶大好きプロジェクト抹茶体験」に参加し、地域の方々との意見交換を行いました。



### ■ 食の町京丹波町ならではの学校給食創造事業

京丹波町立丹波ひかり小学校では、生産者との連携や地域の食文化に触れる機会を通して、食に対する関心を深める食育が推進されています。

4年生の地元の特産物について学ぶ授業を視察し、「京丹波ぼーく」など京丹波町の食材を使用した学校給食「味夢くんランチ」を児童と一緒に味わいました。



学校教育において素晴らしい成果を挙げた教職員等が表彰されました。

【教職員】.....

京丹波町立丹波ひかり小学校	教諭	戎 可奈恵
綾部市立綾部小学校	教諭	小畑 美和
長岡京市立長岡第四中学校	栄養教諭	上田 麻理子
宇治市立西小倉中学校	養護教諭	中村 美幸
城陽市立城陽中学校	教諭	吉岡 圭介
与謝野町宮津市中学校組合立橋立中学校	教諭	原田 鉄兵
京都府立山城高等学校	教諭	星原 庸平
京都府立西城陽高等学校	教諭	高島 恵子
京都府立綾部高等学校	教諭	高田 真介
京都府立豊学校	教諭	伯耆 初予

※在籍校は受賞当時の学校

【教職員組織】.....

京都フォレスト科(京都府立北桑田高等学校)

【社会に開かれた教育実践奨励賞】.....

京都府舞鶴市立大浦小学校



保健体育科の教諭として、生徒が運動技能を高め、スポーツを楽しむことができるよう、教育内容・指導方法の工夫とその改善を図りながら授業を進めています。

また、陸上競技を通して得た自身の経験を生かし、基本的な生活習慣の確立など教育活動全般についてその充実と発展に大きく貢献しています。

陸上競技部の顧問としては、部活動を通じた教育活動を推進し、陸上競技部員を継続的に全国大会に導いています。地域の小・中学校と連携し、「陸上教室」を開催することにも力を注ぐなど、陸上競技の強化と普及にも取り組んでいます。

各教育局の取組を紹介します。

乙訓

— 子どもの育ちと学びをつなぐ

乙訓教育局では、子どもの発達や取り巻く環境、教育的ニーズを把握し、個に応じた指導や支援について理解を深めるとともに、幼児教育施設から小・中学校への円滑な接続を目指しています。

2月5日(水)に開催した「子どもの育ちと学びをつなぐ研修会」では、乙訓地域の幼児教育施設及び小・中学校の教職員89名が一堂に会し、國學院大学 吉永安里教授による『『やってみよう』から始まる架け橋プログラム』と題した講演や、参加者の交流・協議を行い、幼小連携・接続の重要性や義務教育9年間を見通した指導のあり方について、学びを深めることができました。



— 情報のバリアフリー化で共生社会を実現

「段ボールベッドを初めて手に触れることができ、その丈夫さに驚きました!」体験活動後の参加者からの感想です。山城教育局では、視覚障害のある人の心豊かな生活と情報アクセス機会を充実するとともに、府民の障害についての正しい理解と認識を深めるため、毎年、様々なテーマで、研修会を実施しています。

今回は「防災」をテーマに、日本防災士会から講師を招き、各家庭でできる防災対策や災害発生時にとるべき行動について学び、会場に設置した段ボールベッドや簡易トイレを体験しました。今後も、社会情勢を踏まえ、参加者のニーズに沿った取組を実施していきます。

山城



— みんなで育もう 家庭・地域の宝である子どもたちを

南丹

「やっぱり子どもには豊かな体験が必要ですね」「あなたの活動をもっと教えてください」こうした活発な交流から、子育て支援のネットワークが生まれています。南丹教育局では、学校・家庭・地域社会の教育力を高め、互いに連携・協働し、社会総がかりで子どもを守り育てることを目的に、「なんたん子育てフォーラム」を開催してきました。

南丹地区子育て支援協議会が中心となって、全体会の講演と絵本・PTA活動・食育など5つのテーマで分科会を運営しています。子育ての悩み解決やネットワークの広がりを目指す手作りのフォーラム。令和7年度も6月に開催する予定です。



📞 ひとりで悩まないで! 📧

不登校、いじめ、友人関係、学習等の学校生活のことや、家庭内での気がかりな行動等、お子さんの教育や子育てについての相談を受け付けています。

電話教育相談

ふれあい・すこやかテレフォン (24時間受付)

075-612-3268  
または 3301  
0773-43-0390

来所教育相談

京都府総合教育センター(伏見区)及び北部研修所(綾部市)で、臨床心理士、精神科医などが直接会ってお話のうかがいがあります。

メール教育相談

「メール教育相談 京都」で検索してください。携帯電話からも相談できます。

※携帯電話の場合、受信拒否設定を解除してください。



不登校専用相談窓口

きょうと不登校相談ダイヤル 075-585-7588

毎週金曜日 13:00~16:30 (令和6年4月19日~) 詳細はこちら➡



巡回教育相談

お住まいの近くの教育局などに臨床心理士などが出向き、直接会ってお話のうかがいがあります。

体罰専用相談電話

075-612-5013 (毎週水曜日 11:30~18:30)

来所・巡回教育相談のお申込みは、「ふれあい・すこやかテレフォン」にお電話ください。

家計が急変した世帯の高校生などへの支援

失業や休業などにより収入が減り家計が急変した場合、修学資金の貸付をいつでも申請することができます。修学資金を返還している場合は、返還の猶予(返還の先延ばし)ができます。

また、失業などにより保護者など(親権者全員)の住民税所得割が非課税相当となった場合、返済の必要のない給付金の申請ができます。

詳細は、ホームページをご覧ください。

高校教育課修学支援係 TEL:075-414-5043

修学支援事業 ホームページ

修学支援 京都府教育委員会 検索